

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生



第84回

イカリソウ



イカリソウの仲間で、学名が *Epimedium alpinum* となっています。本種はイタリアやオーストリアの山地に自生していますが、今では園芸品種として取引されているようです。花色からキバナイカリソウに近い種では、と思われがちですが花に距がないので区別が付きまます。

日本ではイカリソウの仲間の地上部は淫羊藿（いんようかく）と呼ばれ精力増強や滋養強壯剤として用いられていますが、ヨーロッパでも同様な使われ方をしてきたようです。

*Epimedium* 属植物についての薬効をみますと以下のような作用が報告されています。エキスはテストステロンやエストロゲンの生合成を刺激し性機能を向上すると共にバイアグラ様作用が報告されています。

脳血管を拡張することにより脳血流を改善し、神経変性疾患であるアルツハイマー病やパーキンソン病の予防効果が認められています。また、破骨細胞を抑え、骨芽細胞を刺激することにより骨粗しょう症の予防効果も明らかとなっています。

本画の作者、年代とも不詳です。